

●●事業

基本設計書（貿易 EDI 仕様活用ツール）

Ver.1.00

文書管理番号：

作成日：2023年05月20日

更新日：

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

改定履歴

更新日	版	改定履歴	作成・更新	承認
2023/05/20	1.00	新規作成	GW 岡村	

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール				
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村	
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者		

目次

改定履歴	1
1. はじめに	3
1.1. 本書について	3
2. 貿易 EDI 仕様活用ツール概要	4
2.1. 概要	4
2.2. 国連 CEFAC 標準	4
3. 貿易 EDI 仕様活用ツール要件	6
3.1. メッセージ作成支援機能	6
3.1.1. 類似メッセージ検索	6
3.1.2. 参照作成	6
3.1.3. チェック実行	6
3.1.4. 登録申請	6
3.2. 貿易データ辞書管理機能	7
4. メッセージ作成支援ツール 機能一覧	7
5. メッセージ設計 処理フローイメージ	9
5.1. 辞書検索	9
5.1.1. 共通辞書指定	9
5.1.2. メッセージ編集 (BBIE の追加)	9
5.1.3. メッセージ編集 (SC の追加)	9
5.1.4. メッセージ編集 (ABIE の追加)	10
6. バリデーション仕様	11
6.1. カラムバリデーション	11
6.2. 構造バリデーション	13
6.3. 共通辞書整合化バリデーション	15
6.4. エラーメッセージ出力仕様	16
6.4.1. エラーメッセージ出力項目	16

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

6.4.2.	エラーメッセージ一覧	16
7.	クラス図作成仕様	19
7.1.	クラス図作成	19
7.2.	クラス図レイアウト	20
7.3.	クラス図項目一覧	20
7.4.	クラス図出カイメージ	20
8.	スキーマ作成仕様	21
8.1.	スキーマ(xsd)作成	21
8.2.	スキーマ出力処理詳細	21

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール				
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村	
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者		

1. はじめに

1.1. 本書について

本書は、次世代企業間データ連携調査事業プロジェクトにおける、貿易 EDI 仕様活用ツールの基本仕様について記述した資料となる。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

2. 貿易 EDI 仕様活用ツール概要

2.1. 概要

貿易 EDI 仕様活用ツール（以降、当ツールと称する）は、共通 EDI 仕様を構成する各種文書、メッセージ辞書、コード表および XML スキーマ情報を管理することを目的とし、貿易データ辞書項目に基づく業務ドメイン毎の共通 EDI メッセージの定義・作成を支援する機能を有する。

2.2. 国連 CEFACT 標準

当ツールは、国連 CEFACT 共通辞書に準拠した貿易データ辞書に基づき、参照仕様となる業界共通仕様、および業務ドメイン毎のプロジェクト固有仕様を管理する。

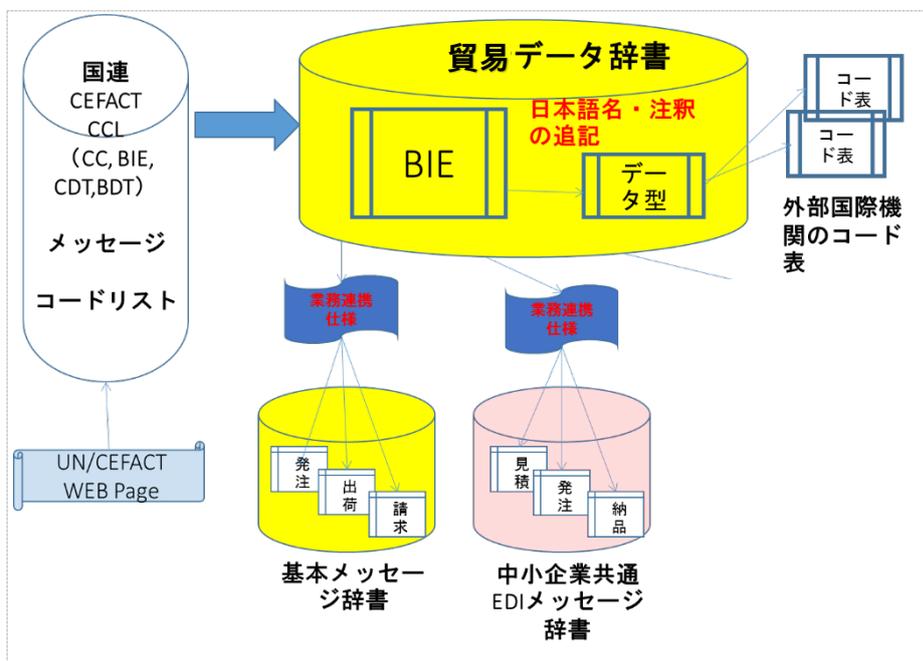


図 2-1 貿易データ辞書とメッセージ辞書

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

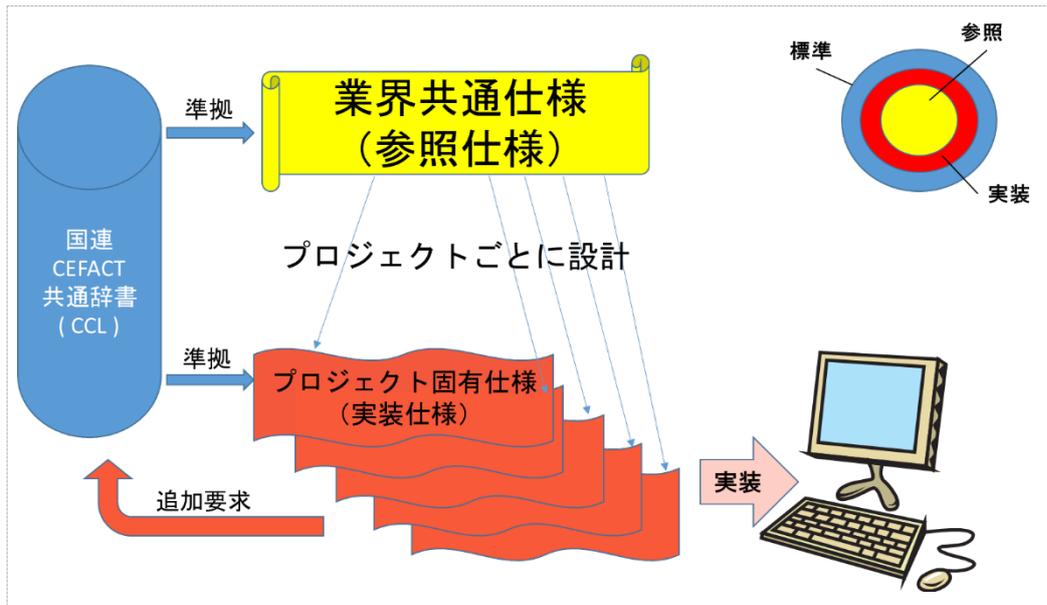


図 2-2 業界（プロジェクト）固有要求に対応

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

3. 貿易 EDI 仕様活用ツール要件

3.1. メッセージ作成支援機能

共通 EDI メッセージの辞書項目、およびコード表の作成支援を行う。

登録された辞書項目及びコード表から XML スキーマの生成、XML インスタンスの生成を可能とする。また、共通 EDI メッセージ仕様に関わる文書である、業務連携定義、ガイドライン等の成果物管理を行う。

メッセージ作成支援プロセスは、下記の流れとなる。

3.1.1. 類似メッセージ検索

既に登録されている共通 EDI メッセージの検索を行う。

3.1.2. 参照作成

既に登録されている共通 EDI メッセージから新規 EDI メッセージの参照作成を行う。

また、新たな辞書項目の仮登録を可能とし、仮の項目 ID (ドメイン識別子+連番) を付番する (正式な項目 ID は、SIPS 事務局での承認後に貿易データ辞書登録時に付与される)。

XML メッセージ定義の作成作業は、Excel 表をマニュアル編集する方法、または専用の Web アプリケーション GUI を用いた方法のいずれかにするかは、今後ユーザビリティ等を検討した結果により決定するものとする。

3.1.3. チェック実行

① バリデーション

XML メッセージとしての構造チェック、および貿易データ辞書項目の XML スキーマによる妥当性チェックを行う。メッセージ構造にエラーがあった場合は、該当箇所の指摘およびエラー内容の表示を行う。

② クラス図出力

作成した XML メッセージ定義を基に、クラス図の出力を行う。

なお、出力されるクラス図の様式は、UML に基づく表記ではなく、クラス階層構造を表現したものであれば簡易的な表記方法を許容する。

3.1.4. 登録申請

作成した XML メッセージ定義から XML スキーマを生成し、SIPS 事務局への登録申請を行う。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

3.2. 貿易データ辞書管理機能

国連 CEFACT 共通辞書を参照し、貿易データ辞書に辞書項目を追加する。

また、追加の際、日本語名および注釈の追記を可能とする。

4. メッセージ作成支援ツール 機能一覧

当ツールにおける機能の一覧を記す。

Addin 後の Excel リボンコントロールより、下記機能が呼び出される。



表 4-1 機能一覧

No.		機能名	説明
1		辞書検索	画面右に作業ウィンドウを表示し、メッセージ作成における辞書の検索、選択項目の挿入を支援する。
2		バリデーション	現在開いている作業シートを対象に、バリデーション処理を実施する。 バリデーション結果は新規シートに出力を行う。
3		クラス図作成	現在開いている作業シートを対象に、クラス図を作成する。(概要と詳細の2つ) 作成したクラス図は BOOK の末尾に追加される。
4		クラス図(SC)	現在開いている作業シートを対象に、クラス図を作成する。(要素を含んだ詳細を1つ) 作成したクラス図は BOOK の末尾に追加される。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

No.		機能名	説明
5	 XSD 出力	XSD 出力	現在開いている作業シートを対象に、スキーマ出力を行う。(xsd ファイル) 出力先は実行時にユーザーで指定を行う。
6	 XML 出力	XML 出力	現在開いている作業シートを対象に、インスタンスを生成する。(xml ファイル) 出力内容は作業シート内に定義された列からユーザーで入力した値を元に出力する。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

5. メッセージ設計 処理フローイメージ

実際の作業を想定し処理フローを記述する。

当ツールは、ダウンロードをした設計のベースとなるドメインメッセージ表（作業 EXCEL）上で処理を実施しているものとする。

5.1. 辞書検索

5.1.1. 共通辞書指定

- A) 検索時に使用する共通辞書 EXCEL を指定する。（手入力 or 選択ダイアログ指定※）
※選択ダイアログ初回起動時のデフォルトフォルダはユーザディレクトリが表示され、以降は、選択したパスが出フォルダフォルダとして表示される。
- B) 「確定」ボタンを押下し、指定した共通辞書を確定※する。
※確定後、検索機能が可能になる。
※再度確定（「解除」とラベルが変更）を押下で共通辞書を再選択できるようになる。
※初回起動時は、共通辞書より検索用に CSV 作成処理が実施される。既に CSV ファイルが存在している場合、作成処理は実施されない。

5.1.2. メッセージ編集（BBIE の追加）

- A) 追加対象 ABIE を共通辞書より検索※する。
※検索の仕方「資料：機能説明_詳細.xlsx」内、「3.検索の仕方」シート参照
- B) 「該当項目（階層）」に表示された ABIE のツリー階層から、追加を行いたい BBIE を選択（チェック※）する。
※複数 BBIE 選択可能。
- C) 作業 EXCEL より追加対象 ABIE を選択状態※とする。
※同行のいずれかのセルを選択。
- D) 「挿入」ボタンを押下し、チェックした BBIE が追加※されたことを確認する。
※追加は、共通辞書の順序を担保し適切な行へ挿入される。
- E) BBIE の追加に伴い、BBIE の第 3 要素（データ型の識別子）に紐づく SC（補足コンポーネント）も同時に挿入※される。
※挿入される SC は、定義された標準の定義のみ挿入される。

5.1.3. メッセージ編集（SC の追加）

- A) 追加対象 BBIE を共通辞書より検索※ する。
※検索方法については、「資料：機能説明_詳細.xlsx」内「3.検索の仕方」シート参照
- B) 「該当項目（階層）」に表示された BBIE のツリー階層から、追加を行いたい SC を選択（チェック※）する。
※複数 SC 選択可能。
- C) 作業 EXCEL より追加対象 BBIE を選択状態※とする。
※同行のいずれかのセルを選択。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

D) 「挿入」ボタンを押下し、チェックした SC が追加※されたことを確認する。

5.1.4. メッセージ編集 (ABIE の追加)

A) 追加対象 ABIE の上位 ABIE を共通辞書より検索する。

※検索の仕方「資料：機能説明_詳細.xlsx」内、「3.検索の仕方」シート参照

B) 「該当項目 (階層)」に表示された ABIE のツリー階層から、追加を行いたい ASBIE を選択 (チェック※) する。

※複数 ASBIE 選択可能。同時に BBIE を選択することも可能

C) 作業 EXCEL より追加対象 ABIE の上位 ABIE を選択状態※する。

※同行のいずれかのセルを選択。

D) 「挿入」ボタンを押下し、チェックした ASBIE が追加※されたことを確認する。

※追加は、共通辞書の順序を担保し適切な行へ挿入される。

E) D)で追加した ASBIE を元に ABIE を共通辞書より検索する。

F) 「該当項目 (階層)」に表示された ABIE のツリー階層から、ABIE を含む追加を行いたい項目を必要数分選択 (チェック) する。

G) 作業 EXCEL より D)で追加した ASBIE を選択状態する。

H) 「挿入」ボタンを押下し、チェックした ASBIE が追加されたことを確認する。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

6. バリデーション仕様

作成した作業 Excel（メッセージ設計書）が正しい規則に則って作成されているか妥当性を検証する。当機能は、ドメインコーディネーターの作業領域にて実行する。

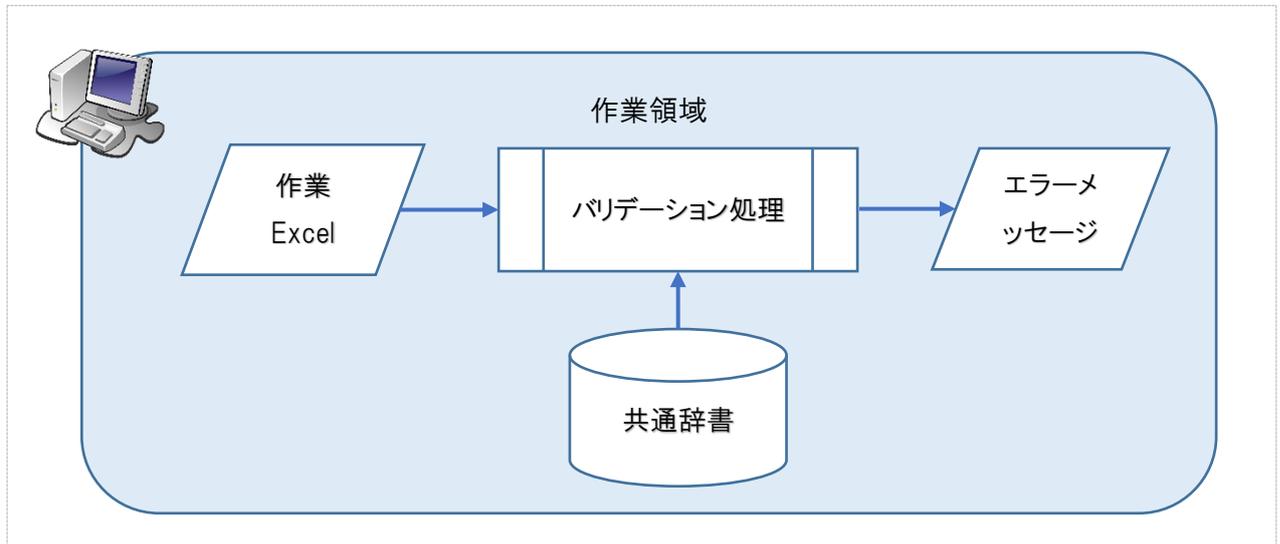


図 6-1 バリデーション処理概要図

6.1. カラムバリデーション

作業 Excel におけるカラム入力内容の妥当性をチェックする。当チェックは、全ての入力行に対して行単位で行う。

表 6-1 カラムバリデーション（単項目チェック）

No.	カラム名	チェック内容
1	行番号	<ul style="list-style-type: none"> 必須入力。 1 から連続した数値が入力されていること。
2	ヘッダ／明細	<ul style="list-style-type: none"> 必須入力。 「ヘッダ部」／「明細部」のいずれかが入力されていること。
3	BIE 辞書 ID 番号	<ul style="list-style-type: none"> 項目種「MA」／「SC」の場合、空欄であること。 上記以外の場合、必須入力。 先頭文字列が「UN」／「JPS」／ドメイン固有識別子かつ、後続文字列が数値 7 桁であること。 先頭文字列が「UN」以外の場合、Warning とする。 共通辞書整合化チェックを行う（後述）。
4	項目種	<ul style="list-style-type: none"> 必須入力。 「MA」／「ASMA」／「ABIE」／「ASBIE」／「BBIE」／「SC」のいずれかが入力されていること。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

No.	カラム名	チェック内容
5	DEN	<p>必須入力。各列のいずれか一列のみに入力されていること（それ以外の列は空欄であること）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英字、ハイフン”-”、アンダーバー”_”、ピリオド”.”、空白以外の文字が含まれていないこと。 ・項目種「MA」／「ASMA」の場合、インデントされていないこと（先頭列に記入されていること）。 ・項目種「ABIE」／「ASBIE」／「BBIE」／「SC」の場合、インデントされていること（2列目以降に記入されていること）。 <p>以下、ピリオド”.”を区切り文字として、要素分割し、妥当性の検証を行う（ピリオド後ろの空白は無視する）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目種「MA」の場合、 <ul style="list-style-type: none"> - 1要素のみであること（ピリオド”.”なし）。 ・項目種「ASMA」の場合、 <ul style="list-style-type: none"> - 2要素に分割されること。 - 第2要素が文字列“Details”であること。 ・項目種「ABIE」の場合、 <ul style="list-style-type: none"> - 2要素に分割されること。 - 第1要素が親のASBIEの第3要素と一致すること。※ - 第2要素が文字列“Details”であること。 ・項目種「BBIE」の場合、 <ul style="list-style-type: none"> - 3要素に分割されること。 - 第1要素が親のASMA／ABIEの第1要素と一致すること。※ - 第3要素はデータ型の識別子となる¹。次のいずれかの文字列であること。 <ul style="list-style-type: none"> “Amount”／“Binary Object”／“Code”／ “Date”／“Date Time”／“Identifier”／ “Indicator”／“Measure”／“Numeric”／ “Percent”／“Quantity”／“Rate”／“Text”／ “Time”／“Value” ・項目種「SC」の場合、 <ul style="list-style-type: none"> - データ型に含まれる補足コンポーネントであること。

¹ オプション設定により、データ型を追加・削除可能とする（チェックデータは予めSIPS事務局にて登録が必要）。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

No.	カラム名	チェック内容
		<ul style="list-style-type: none"> 項目種「ASBIE」の場合、 <ul style="list-style-type: none"> - 3要素に分割されること。 - 第1要素が親の ASMA/ABIE の第1要素と一致すること。※ <p>※後述の「構造バリデーション」にて詳細を記載。</p>
6	項目名	<ul style="list-style-type: none"> 必須入力。 項目種「ABIE」の場合、末尾が“クラス”で終わること。 項目種「ASBIE」の場合、先頭及び末尾以外に“/”が一文字のみ含まれていること。
7	繰り返し	<ul style="list-style-type: none"> 必須入力。 項目種「MA」/「ABIE」/「SC」の場合、“”（全角マイナス）、または“-”（半角マイナス）であること。 項目種「ASMA」/「ASBIE」/「BBIE」の場合、先頭“0”/“1”であること。かつ、2-3文字目が“.”であること。かつ、4文字目が“1”/“n”であること。

6.2. 構造バリデーション

作業 Excel における構造の妥当性をチェックする。

- a. 先頭行・階層レベル1の項目種が「MA」であること。
上記以外は、エラーとする。
- b. 次行以降を同階層レベルの項目が出現するまで順次読み込む。
 - i. 項目種が「ASMA」の場合、
 - (a) 階層レベル1であること。
 - (b) 上記以外は、エラーとする。
 - (c) 階層レベルをインクリメントし、処理を継続する。
 - ii. 項目種が「ABIE」の場合、
 - (a) 階層²の項目種が「ASBIE」であること。
 - (b) 上位階層の DEN 内末尾“.”（ピリオド）より後方文字列と現在の DEN 内先頭“.”（ピリオド）より前方文字列が一致すること。
Ex) 上位階層「CI_Trade_Party_Defined. CI_Trade_Contact」(受注者/連絡先アソシエーション)と、現在の「CI_Trade_Contact_Details」(連絡先クラス)の該当部分「CI_Trade_Contact」が一致していること。

² 上位階層とは、現在行の前方直近に出現する、階層レベルが1つ上位の項目を示す。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

- (c) 上記以外は、エラーとする。
- (d) 階層レベルをインクリメントし、処理を継続する。
- iii. 項目種が「BBIE」の場合、
 - (a) 上位階層の項目種が「ASMA」／「ABIE」であること。
 - (b) 同一階層・前行の項目種が「BBIE」であること。
(現在行が同一階層・先頭行の場合、チェックしない)
 - (c) 上位階層の項目種が「ABIE」の場合、上位階層の DEN 内先頭 “.” (ピリオド) より前方文字列と現在の DEN 内先頭 “.” (ピリオド) より前方文字列が一致すること。
Ex 上位階層「**CI_Trade_Contact_Details**」(連絡先クラス)と、現在の「**CI_Trade_Contact_Identification_Identifier**」(受注者部門コード)の該当部分“**CI_Trade_Contact**”が一致していること。
 - (d) 上記以外は、エラーとする。
 - (e) 処理を継続する。
- iv. 項目種が「SC」の場合、
 - (a) 上位階層の項目種が「BBIE」であること。
 - (b) 同一階層・前行項目の項目種が「SC」であること。
(現在行が同一階層・先頭行の場合、チェックしない)
 - (c) 上位階層の「BBIE」に紐づく「SC」であること。
 - (d) 上記以外は、エラーとする。
 - (e) 処理を継続する。
- v. 階層レベルをインクリメントし、処理を継続する。項目種が「ASBIE」の場合、
 - (a) 上位階層の項目種が「ASMA」／「ABIE」であること。
 - (b) 階層・前行項目の項目種が「BBIE」であること。または同一階層・前方直近の項目種が「ASBIE」であること。(現在行が同一階層・先頭行の場合、チェックしない)
 - (c) 上位階層の DEN 内先頭 “.” (ピリオド) より前方文字列と現在の DEN 内先頭 “.” (ピリオド) より前方文字列が一致すること。
Ex 上位階層「**CI_Trade_Party_Details**」(受注者クラス)と、現在の「**CI_Trade_Party_Defined_CI_Trade_Contact**」(受注者/連絡先アソシエーション)の該当部分“**CI_Trade_Party**”が一致していること。
 - (d) 上記以外は、エラーとする。
 - (e) 階層レベルをインクリメントし、処理を継続する。
- vi. 現在行が同一階層レベルの末尾、かつ最終階層レベルに達した場合、階層レベルをデクリメントし処理を続行する。
- c. 項目種「ASMA」が一つも存在しない場合は、エラーとする。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

6.3. 共通辞書整合化バリデーション

作業 Excel に入力された BIE 辞書 ID 番号と共通辞書³との整合性をチェックする。

BIE 辞書 ID 番号が共通辞書に存在しない場合、エラーとする。

ただし、例外として、BIE 辞書 ID 番号に“JPS”+XXXXXXX (数値 7 桁) / ドメイン識別子+XXXXXXX (数値 7 桁)、が指定されている場合は、エラーとせず、Warning を表示とする。

ドメイン識別子のコード体系を以下に示す。

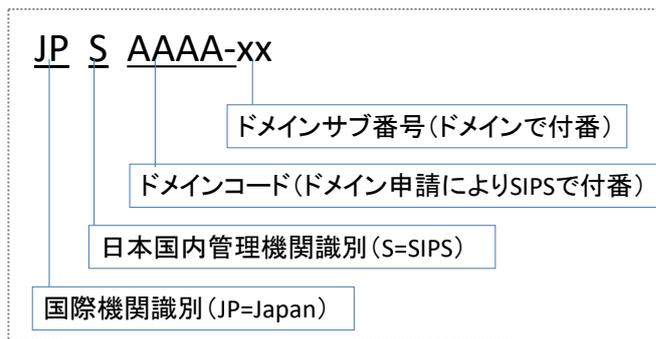


図 6-2 ドメイン識別子

³ 共通辞書とは、SIPS ホームページにて公開されている、国連 CEFACT 共通辞書の「業務情報項目辞書」の最新版を示す。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

6.4. エラーメッセージ出力仕様

バリデーション処理の実行結果をエラーメッセージファイルに出力する。

6.4.1. エラーメッセージ出力項目

エラーメッセージファイルの出力項目は、下記の通りとする。

表 6-2 エラーメッセージ出力項目

No.	カラム名	説明
1	行番号	作業 Excel エラー発生行
2	BIE 辞書 ID 番号	作業 Excel エラー発生行の BIE 辞書 ID 番号
3	項目種	作業 Excel エラー発生行の項目種
4	DEN	作業 Excel エラー発生行の DEN
5	カラム名	作業 Excel エラー発生したカラム名
6	区分	Error/Warning
7	エラーコード	エラーメッセージを識別するコード。 形式：X9999 1 桁目 区分記号 (E : Error/W : Warning) 2 桁目 エラー識別番号
8	エラーメッセージ	エラーメッセージ文言

6.4.2. エラーメッセージ一覧

エラーメッセージの一覧は、下記の通りとする。

表 6-3 エラーメッセージ一覧

No.	区分	エラーコード	対象カラム	エラーメッセージ
1	Warning	W0001	BIE 辞書 ID 番号	ID 番号が UN/CEFACT で認可された ID ではありません。【UN+xxxxxxx】
2	Warning	W0002	BIE 辞書 ID 番号	項目の並び順は、貿易 EDI 共通辞書の並び順としてください。
3	Error	E0001	全て	必須入力です。
4	Error	E0002	行番号	連続した数値を入力してください。
5	Error	E0003	ヘッダ/明細	「ヘッダ」/「明細」を入力してください。
6	Error	E0004	BIE 辞書 ID 番号	項目種「MA」の場合、ID 番号は空白にしてください。
7	Error	E0005	BIE 辞書 ID 番号	形式に誤りがあります。【UN/JPS/ドメイン識別子+xxxxxxx】
8	Error	E0006	項目種	「MA」/「ASMA」/「ABIE」/「ASBIE」/「BBIE」を入力してください。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

No.	区分	エラーコード	対象カラム	エラーメッセージ
9	Error	E0007	DEN	複数の階層レベルに入力されています。一つの階層レベルのみに入力してください。
10	Error	E0008	DEN	英字、ハイフン”-”、アンダーバー”_”、ピリオド”.”、空白以外の文字が含まれています。
11	Error	E0009	DEN	項目種「MA」／「ASMA」の場合、先頭の階層レベルに入力してください。
12	Error	E0010	DEN	項目種「ABIE」／「ASBIE」／「BBIE」の場合、階層レベル 2 列目以降に入力してください。
13	Error	E0011	項目名	項目種「ABIE」の場合、末尾を“クラス”で終わらせてください。
14	Error	E0012	項目名	項目種「ASBIE」の場合、関連するクラスとアソシエーションを“/”で区切る形式としてください。
15	Error	E0013	繰り返し	項目種「MA」／「ABIE」の場合、“.”（半角マイナス）または“-”（全角マイナス）としてください。
16	Error	E0014	繰り返し	繰り返しの指定に誤りがあります。項目の出現回数は、最小値 0 または 1、最大値 1 または n。またピリオド“.” 2 文字で区切ってください。（形式：0/1..1/n）
17	Error	E0015	データ型補足	ID 型/Code 型の場合、補足 1 に発番機関識別子を入力してください。
18	Error	E0016	データ型補足	ID 型/Code 型の場合、補足 2 に発番機関名を入力してください。
19	Error	E0017	データ型補足	ID 型/Code 型の場合、補足 3 にコード表バージョンを入力してください。
20	Error	E0018	データ型補足	Text 型の場合、補足 1 に言語コードを入力してください。
21	Error	E0019	データ型補足	DateTime 型の場合、補足 1 に日時様式を入力してください。
22	Error	E0020	項目種	先頭行・階層レベル 1 の項目種は「MA」でなければなりません。
23	Error	E0021	項目種	項目種「ASMA」は階層レベル 1 でなければなりません。
24	Error	E0022	項目種	項目種「ABIE」は ASBIE に関連付けが必要です。
25	Error	E0023	項目種	項目種「BBIE」は ASMA または ABIE に関連付けが必要です。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

No.	区分	エラーコード	対象カラム	エラーメッセージ
26	Error	E0024	項目種	項目種「BBIE」は同一階層レベルの ASBIE より前に配置してください。
27	Error	E0025	(未使用)	(未使用)
28	Error	E0026	項目種	項目種「ASBIE」は ASMA または ABIE に関連付けが必要です。
29	Error	E0027	項目種	項目種「ASMA」は一つ以上存在しないなりません。
30	Error	E0028	BIE 辞書 ID 番号	共通辞書に未定義の ID 番号です。
31	Error	E0029	DEN	項目種「MA」の場合、1 要素のみとしてください (DEN 要素区切り文字ピリオド: ".")。
32	Error	E0030	DEN	項目種「ASMA」 / 「ABIE」の場合、2 要素としてください (DEN 要素区切り文字ピリオド: ".")。
33	Error	E0031	DEN	項目種「ASMA」 / 「ABIE」の場合、第 2 要素を文字列 "Details" としてください (DEN 要素区切り文字ピリオド: ".")。
34	Error	E0032	DEN	項目種「ABIE」の場合、第 1 要素が上位クラスと関連する ASBIE の第 3 要素と一致しなければなりません (DEN 要素区切り文字: ピリオド ".")。
35	Error	E0033	DEN	項目種「ASBIE」 / 「BBIE」の場合、3 要素としてください (DEN 要素区切り文字ピリオド: ".")。
36	Error	E0034	DEN	項目種「ASBIE」 / 「BBIE」の場合、第 1 要素が上位クラスとなる ASMA / ABIE の第 1 要素と一致しなければなりません (DEN 要素区切り文字: ピリオド ".")。
37	Error	E0035	DEN	項目種「BBIE」の場合、第 3 要素がデータ型の識別文字列でなければなりません (DEN 要素区切り文字: ピリオド ".")。
38	Error	E0036	項目種	項目種「MA」直下の行には、「ASMA」を定義してください。
39	Error	E0037	データ型補足	Amount 型の場合、補足 1 に通貨コードを入力してください。
40	Error	E0038	データ型補足	Quantity 型の場合、補足 1 に単位コードを入力してください。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

7. クラス図作成仕様

作成した作業 Excel（メッセージ設計書）を元にクラス図(Excel)を出力する。
 当機能は、ドメインコーディネーターの作業領域にて実行する。

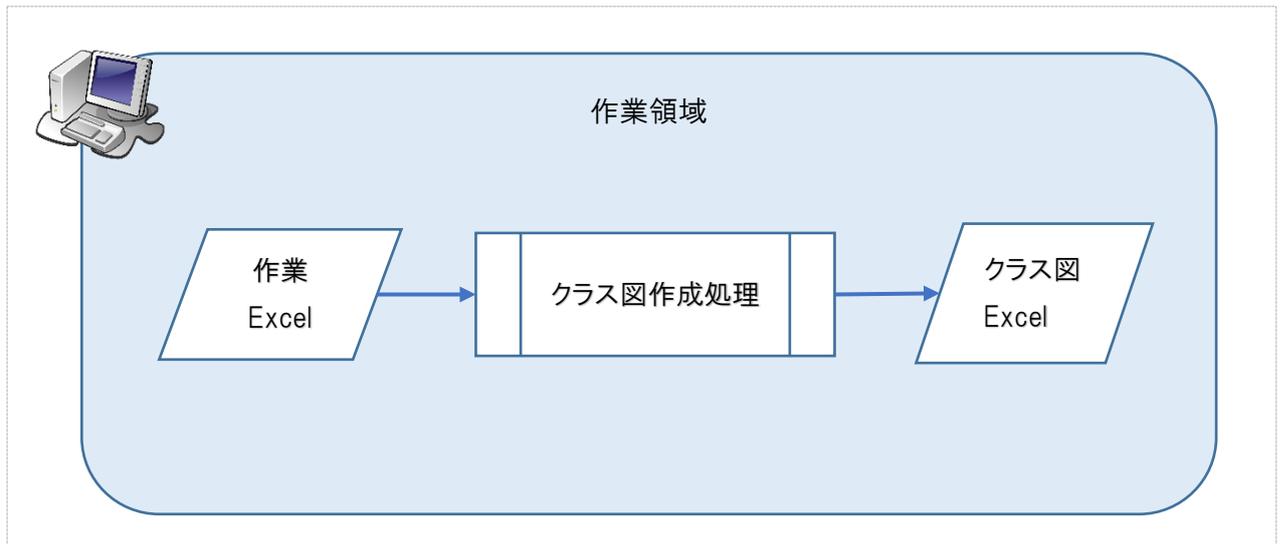


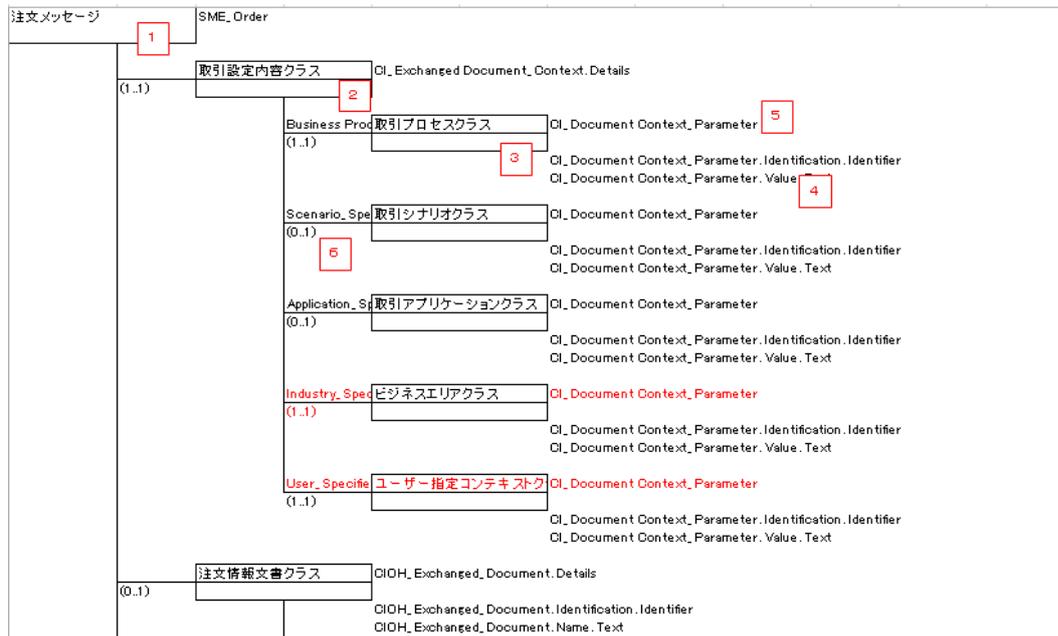
図 7-1 クラス図作成処理概要図

7.1. クラス図作成

作業 Excel を読み込み、新規 Excel ファイルにシート「クラス図」「クラス図明細」を作成する。
 「クラス図」は MA、ASMA、ASBIE、ABIE を記述対象とする。
 「クラス図明細」は MA、ASMA、ASBIE、ABIE、BBIE、SC を記述対象とする。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

7.2. クラス図レイアウト



メッセージのルートにあたる 1 には MA、その直下には 2 の ASMA を配置、それ以降は ASBIE と ABIE の情報を組み合わせた 3 を配置する。

クラス図の明細 (BBIE、SC) は 2 と 3 の枠の中もしくは付近に配置する。

7.3. クラス図項目一覧

表 7-1 クラス図項目一覧

No.	項目名	項目種	備考
1	メッセージルート	MA	
2	固有クラス	ASMA	ルート直下のメッセージ種毎の固有クラス
3	汎用クラス	ASBIE ABIE	汎用クラス
4	メンバー値	BBIE SC	クラスが持つメンバー値を文字列で表す
5	汎用クラス文字列		クラス枠前には固有名、クラス枠後ろにクラス名を表す
6	出現数		(0..1) 必須ではなく最大数 1 (1..1) 必須項目で最大数 1 (0..n) 必須ではなく最大数 n

7.4. クラス図出カイメージ

別紙 2 「貿易 EDI 仕様活用ツール クラス図」参照。

工程	基本設計	プロジェクト	●●事業	システム名	貿易 EDI 仕様活用ツール			
文書 ID		文書名	基本設計書	版	作成日	2023/05/20	作成者	GW 岡村
機能 ID		機能名		1.00	更新日		更新者	

8. スキーマ作成仕様

作成した作業 Excel（メッセージ設計書）を元にスキーマ(xsd)を出力する。

当機能は、ドメインコーディネーターの作業領域にて実行する。

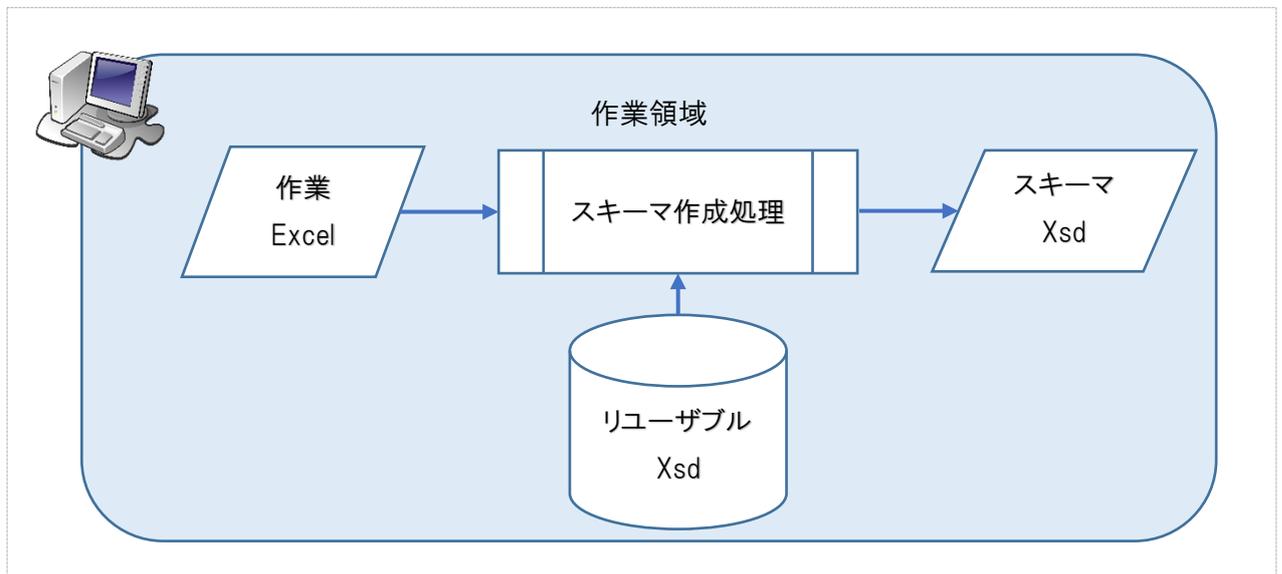


図 8-1 スキーマ作成処理概要図

8.1. スキーマ(xsd)作成

作業 Excel、リユーザブル Xsd を読み込み、新規 Xsd ファイルにスキーマを作成し出力する。

8.2. スキーマ出力処理詳細

別紙 3 「貿易 EDI 仕様活用ツール スキーマ XSD 作成」参照。